



Order Patent

B9

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 60135167 A

(43) Date of publication of application: 18.07.1985

(51) Int. Cl. B24B 9/14
G02B 1/10

(21) Application number: 58248795
(22) Date of filing: 24.12.1983

(71) Applicant: NISHIKATA MASATO
KINOSHITA HIDEKI
(72) Inventor: NISHIKATA MASATO
KINOSHITA HIDEKI

(54) SURFACE TREATMENT METHOD OF LENS

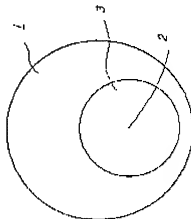
(57) Abstract:

PURPOSE: To allow a fitting sucker to a machine to be reliably fixed and protect the lens surface during machining by sticking a double coated adhesive tape on the surface of various unprocessed lens proper from the optical center.

CONSTITUTION: A tape 3 is stuck in the predetermined range of the surface of a lens proper 1 with its optical center set as a cardinal point, the tape 3 is coated with the adhesive agent on one face or both faces, and a transparent or opaque resin film, metal, cloth, etc. are used as the material. The stuck range is made larger than at least the area of the jig sucker adsorbing the lens proper 1. Accordingly, the surface of the lens proper 1 can be prevented from being damaged due to marks, rule lines, etc. marked at the optical center 2 of the lens proper 1 or around it, and also

the damage due to the sucker fitted to the optical center 2 while machining the outer diameter can be prevented. In addition, the lens proper 1 can be reliably held to a jig.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio



④ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和60年(1985)7月18日

B 24 B 9/14
G 02 B 1/10

6902-3C
8106-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑤ 発明の名称 レンズの表面処理方法

⑥ 特 願 昭58-248796

⑦ 出 願 昭58(1983)12月24日

⑧ 発 明 者 西 方 正 人 鯖江市三六町1-1-28
⑧ 発 明 者 木 下 秀 樹 鯖江市西大井町31-1-10
⑨ 出 願 人 西 方 正 人 鯖江市三六町1-1-28
⑨ 出 願 人 木 下 秀 樹 鯖江市西大井町31-1-10
⑩ 代 理 人 弁理士 西 山 閑一

明 細 書

1. 発明の名称

レンズの表面処理方法

2. 発明の要旨

(1) 本発明は、各種レンズ本体の表面に光学中心よりテーパーを貼着せしめることで、レンズの表面を平滑にする方法。

(2) 前記テーパーは、両面研磨剤が塗布されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のレンズの表面処理方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、各種レンズの表面を平滑にするための方法に関するものである。

一般に、各種用途で使用される各種レンズは、外形加工の際、光学的中心およびその周囲に所定のマークや位置線が印され、又加工後のレンズの表面を平滑に光学中心を基点として、レンズの表面を平滑に加工する。従って、本発明は、前記加工後のレンズの表面を平滑にする方法に関する。

従って、本発明は、これらマーク等の印付、治具の取付け等により、レンズの表面を平滑にする方法を提供する。本発明は、前記加工後のレンズの表面を平滑にする方法に関する。

本発明は、かかる欠点を、各種レンズ本体の表面に光学中心よりテーパーを貼着せしめることで、上記欠点を解消せんとしたものである。以下、本発明の主要な特徴を、図面を参照して説明する。

1 はレンズ本体であり、該レンズ本体1は、眼鏡用、カメラ用、顕微鏡用その他の各種用途で使用されるものを対象とする。また、該レンズ本体は、ガラス、アクリル等の透明材料で構成され、その表面に光学中心を基点として、テーパーを貼着している。

そして、このレンズ本体1の光学中心2を基点として、両面研磨剤を塗布する。このようにして、レンズ本体1の表面を平滑にする。

貼着されるテーパーは、片面若しくは両面に貼

層を磨削せしめたものであり、その材質は透明若しくは半透明の組織フィルム、金属、樹脂減産材のものを使用している。

又テーパー3の貼附範囲は少なくともレンズ本体1を吸着せしめる治具の吸着の範囲より大なる範囲である。

要するに本発明は、従来形の各種レンズ本体1の裏面に光学中心2よりテーパー3を貼附せしめるに於いたので、レンズ本体1の光学中心2若しくはその周囲に印されるマーク、製造誤差によるレンズ本体1表面の凹凸を防止出来、又レンズ本体1の外装加工時において加工本体1を固定範囲せしめる際に光学中心2を基点としてレンズ本体1表面に取付けられる吸着材による凹凸も防止出来、よってレンズ本体1の加工時における各工程中で光学中心2の通過誤差を低減せしめることによりレンズ本体1を完全に保護せしめることが出来、又テーパー3を周囲に貼附用が磨削されたものを使用すれば吸着と吸着層を強力ならしめて治具に對するレンズ

本体1の保持を確保ならしめることが出来るがその使用上の効果は多大なるものである。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例を示すものとして、レンズ本体にテーパーを貼附した状態の正面図である。

1 レンズ本体 2 光学中心 3 テーパー
以 上

出 発 人 西 方 正 人
代理人 木 下 秀 雄

代理人 井理士 西 山 開 一

図

手続補正書

昭和59年4月28日

特許庁長官 若杉和夫殿

1. 事件の表示

昭和58年特許願第248796号

2. 発明の名称

レンズの表面処理方法

3. 補正をする者

事件との関係 出願人

住所

氏名 西 方 正 人 (他1名)

4. 代理人

住所 名古屋市千種区西坂町2-46

メゾン西坂1階

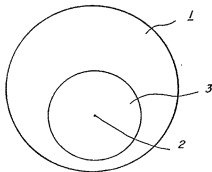
氏名 (7328) 井理士 西 山 開 一

5. 補正命令の日付 自発

6. 補正により増加する発明の数

7. 補正の対象 明細書

8. 補正の内容 別紙の通り



手 続 補 正 書

昭和58年特許願第248796号

1. 上記出願に関し、明細書中第1頁第12行目を次の通り補正する。

「本発明は未整形の各種レンズの外形加工の際に加工機への装着用の吸盤を確実に吸着固定出来る様にすると共に、加工時におけるレンズ表面を保護せ」

2. 明細書中第3頁第9行目を次の通り補正する。

「める様にしたので、テープ3を基準として加工機への装着用の吸盤を定位置に確実に吸着せしめることが出来、又テープ3によりレンズ本体1の光学中心2」

以上

出願人 西 方 正 人

“ 木 下 秀 樹

代理人 弁理士 西 山 間 一

